

はぐるま

きょうされん全国大会 参加報告

きょうされん全国は、全国の障害のある人・家族・関係者が一同に集まって、各地の経験に学び交流を深める場として毎年開催されています。今年の第46回大会はさいたま市で開催され、はぐるまの仲間も久しぶりに全員で参加しました。

冒頭の基調報告では（仲間には難しい話だったかもしれませんが）、国連の障害者権利委員会から日本に出された総括所見の内容について触れられました。精神病院の平均入院日数について、日本のそれは277日と主な先進国の中では圧倒的に長いこと。



大会には 3200 人以上の参加者が。
そのうち 4 割は障害当事者でした。
エネルギーがすごかった。

No.120

2023 年 9 月 15 日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会

川崎市多摩区
菅馬場 1-19-24
Tel. 044-946-1308



迷子にならないように。目指す
は大宮ソニックシティ！

障害児を集めた特別支援教育は権利条約がめざすインクルーシブ教育とはかけ離れていること。障害者が集まる福祉的就労ではなく、一般労働市場への移行が望ましいこと。障害者の地域生活が「グループホーム」という特定の生活様式に偏っていること。どれもすぐには実現できそうもありませんが、そこに込められている「障害のないものとの平等」について、われわれは考え続けなければなりません。

さて、この大会参加において、はぐるまの仲間は3〜6人の少人数グループで電車を使って移動をしました。かつては頻繁に販売活動に出かけ、仲間同士で約束を守りながらいろんな街に出かけましたが、仕事の内容も変化し、またコロナで交通機関を使つての移動も少なくなっていました。今回の大会参加で、あらためて目的地まで仲間といっしょに到達するために必要なことを学習しました。

ベテランの仲間は「昔とった杵柄」、電車の乗り降りには全員でかたまり、要所で点呼を行い、皆がい



グループごとにお昼ご飯も外
食しました。埼玉名物はうどん
とスパゲティなんだって…。
(ほんまかいな by 山田さん)



るかを確認します。いっしょに歩く、という一見当たり前のことも実は一朝一夕にできることではないのです。仲間といっしょに運動に出かける、いっしょに掃除をする、いっしょに買いものに出かける、生活のいろんな場面でそのような力を積み重ねる機会があります。そしてそのことが障害のある仲間のできることⅡ選択肢を増やすことにつながるのです。仲間も職員も、今回の大会参加のような非日常の活動の時に、普段の活動の振り返りをして、学習を重ねていきたいと思っています。

(きょうされん担当 金田圭二)

「待ちに待った仲間たちの登山行事」

10月にいよいよ迫る、今年度より再開するはぐるまの会を代表する登山行事。今年は東京都西多摩郡の「三頭山」に登ります。標高は1531m、山梨県に隣接し、東京都とはいえ都会とは違う気候と自然を味わうことができる山です。4年ぶりの開催にあたり、仲間たちの期待度はとても高いものを感じています。既に2回目の練習が終わり、仲間の登山実行委員たちは役割を意識して「自分たちが進行しなくちゃ!」という意欲を持ち、自治会のリーダー以外の若手の仲間たちからも同様の気合を感じています。

振り返れば仲間たちの日常はたくさんの「変更」「機会損失」を強いられてきたコロナ禍の3年間であつたと思います。仲間たちが作業所やホームで地道にコツコツと続けている日々の運動や係仕事・活動などは、全てこのはぐるまの行事の場で集約して「日々のがんばりを発揮して、自分たちで計画・遂行してみんなで成し遂げるんだ!」という成果発表の位置づけで行われてきたものだからです。そのような仲間たちの「晴れの舞台」が、コロナという目に見えない脅威に発表の場を奪われたこの3年間の日常は、毎日をごす仲間たちにとって苦しいものだったと考えます。「自分たちががんばりの成果を発表する場もないのに、どうして自分たちの日常を大事にできるのだろう」、仲間たち当事者側の立ち場になって考えたときにそう感じます。

今回4年ぶりの登山行事の実施にあたっては、プランクがある仲間たちと登山行事未経験の正職員も6名という中で行われます。はぐるまの仲間たちと登山行事未経験の正職員も6名という中で行われます。はぐるまの仲間たちの力と、職員のチーム力の現状の再確認を行うため、今回は安全を重視した日帰りでの開催となりましたが、来年・再来年の登山行事につながるように仲間たちの反応をぜひこの機会に目の当たりにし、来年度の活動の質がより高まり、たくさんの方の体験が詰まった仕掛けになれば、と考えています。

コロナによって多くの機会を奪われた仲間たちのために、私たち支援者もチーム一丸となってサポートしあいながら、仲間たち登山を「大成功!」と言えるものにしていきたいと思いますので、引き続き皆様のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。(はぐるま職員会登山実行委員長 石澤)

三頭大滝



山頂からは、南には富士山
北には雲取山が望めるかも 🌸



「マイナンバーズカード保険証をめぐる問題」

トラブル続きのマイナ保険証について。「全国障害者研究会 みんなのねがい」の記事より。

【2024年秋に健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体の「マイナ保険証」の取得を強要する「マイナバー法等の一部改正案」が6月2日の衆議院本会議で可決・成立しました。政府はマイナ保険証を持たない人には、保険証の代わりとなる「資格確認書」を発行するとしています。しかし、資格確認書を利用する人はマイナ保険証を利用する人よりも自己負担額が高くなるなど、医療受診時に制度的格差が生じるようになっていきます。

障害がある人、高齢者をはじめとした、マイナ保険証の申請・取得が困難な人がいるにも関わらず、現行の健康保険証を使う人の方が自己負担額が高くなるという状況は、すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利があり、国は生活保障の義務があることを規定した憲法25条に反するものにならないでしょうか。マイナンバー制度が目指しているのは「便利な暮らし、よりよい社会」で社会保障・税・災害対策の3分野で活用するとされていますが、マイナンバーズカード・マイナ保険証をめぐる問題は、障害がある人たちに限らずすべての人々に混乱と不安をもたらしていることは明らかです。【以上抜粋】

ということ、問題山積な上、本当にメリットがあるのか疑問を持ってしまうマイナ保険証ですが、実際の手続きについて、川崎市のマイナンバーズカ

ードコールセンターへ問い合わせしてみました。

フリーダイヤル 0120380366

今回の問い合わせ内容は現在マイナンバーズカードを持っていて、保険証と紐づけするにはどうしたらよいのか。

Q 障害がある方で直接手続きできない場合は代理で手続きできますか？

A 多摩区の場合（区によって違うらしい）は
1 マイナンバーズカード 2 登録時の暗証番号
3 本人の健康保険証

以上3点があれば、代理でもできます。代理人の身分証明書は特に必要ありません。もしあれば運転免許証等あった方がいいかもしれません。

Q いつまでに紐づけしなければならないという期限はありますか？来年の秋までと言われていますが、
A 特にありません。

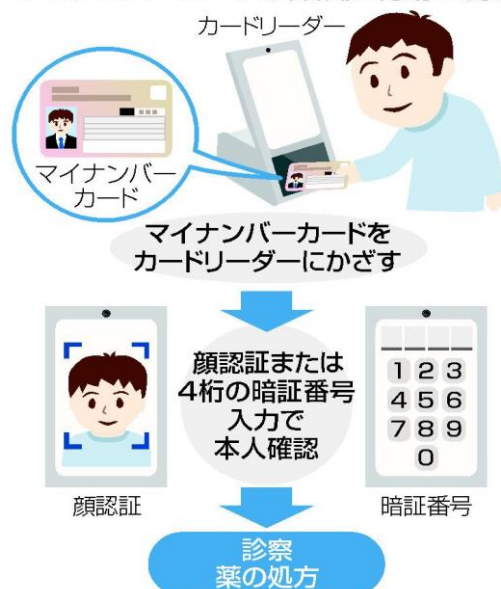
という回答でした。世論を見ながら路線変更しているのか、紐づけを急がせるような文言は控えている印象でした。ただ、健康保険証の廃止は既定路線で、資格確認書にも期限があります。手続きするかどうかは自己判断ですが、今後は人件費を減らし、簡素化・合理化・デジタル化の潮流です。手続きはしておいた方がよいかもしれません。

マイナカードには必ず暗証番号が必要です。暗証番号を何回も間違えたり、忘れたりすると、度々区役所に行かなければならないので、お忘れなく。

不明な点は是非コールセンターに問い合わせしてみてください。

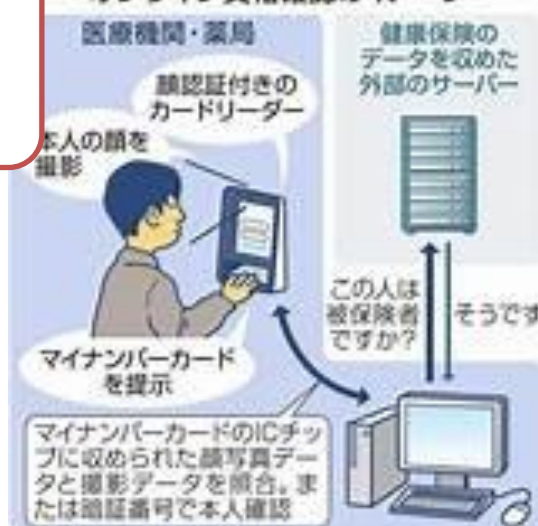
（広報担当 本岡敬子）

マイナンバーカードの保険証利用の流れ



病歴・処方薬などが管理されるようになる！

オンライン資格確認のイメージ



仲間たちの絵画教室の作品



原子さん
作



小澤さん
作



中田さん作



下築さん作



山岸さん
作



長谷川
来夢さん

個性的な絵が揃いました。先日行われた絵画教室の作品です。colors 川崎の取り組みの一環として、絵が好きな仲間が、講師を招いての絵画教室に参加しました。この中から数点作品展に展示される予定です。作品展の期間は 11 月 10 日～19 日新百合ヶ丘周辺予定。詳細がわかりましたら、改めてお知らせいたします。

以下 colors 川崎の展覧会について

【川崎市文化財団では、川崎市の「かわさきパラムーブメント」の方針に基づき、障がいのある人もない人も共に文化芸術活動に取り組むことのできる環境づくりを進める「パラアート推進事業」を展開しています。その一環として、作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、一つ一つの作品のありのままの魅力をダイレクトに感じてもらうことを目指す展覧会を開催します。】

この教室は石澤職員が先導して開催しました。今後の取り組みも楽しみです。

(編集 広報担当 本岡)